

9月桜川市議員選挙

提案型質問で議会に新風



日本共産党

菊池のぶひろ議員の4年間

菊池のぶひろ議員は、初当選以来、議会を1回も休まず、一般質問だけでなく、議案への質問、討論でも積極的に発言し、みなさんの声を市政に届けてきました。4年間の仕事を紹介します。

連絡先

住所・309-1217 桜川市犬田1210-7
電話・FAX 0296-75-3856 Eメール setuko731@vega.ocn.ne.jp
ホームページ「菊池のぶひろ」で検索できます
ブログはほぼ毎日更新しています

「地震被害に役立つ情報」を全戸配布

2011年3・11大震災のときには、「り災証明書」の申請の必要性をお知らせしました。市民のみなさんから感謝の声が寄せられました。

また、市の見舞金制度、県の見舞金制度の活用もいち早く提起しました。

がれきの「無料処理」では、環境対策課に足をはこび、延長を働きかけ、市役所担当課の努力もあり、「5月の連休終わりまで」にしてもらいました。

岩手県陸前高田市へ災害救援物資を運ぶ

6月3日には、桜川市民から寄せられた救援物資ワゴン車1台分と自家用車1台（これは現地に寄贈）をもって、岩手県陸前高田市の日本共産党の受け入れ先に届けてきました。



写真 寄贈した自動車



写真 左は、陸前高田市の共産党議員の息子さん。大学を休んで、現地の受け入れセンターの仕事をしていました。中央に菊池議員、右は、菊池せつ子元議員



写真 枯れる前の奇跡の一本松

放射線マップを作成し、全戸に配布



写真 欽田神社前で測定中の菊池議員

3・11では、福島原発事故被害が大きな問題となりました。菊池議員は、放射線測定器を自費で購入し、市内1000か所以上で、地上放射線量を測定し、放射線マップを作成し、全戸配布しました。

測定地は、個人の家には迷惑がかからないよう、神社など公共の場の地上線量を測定しました。

学校給食の放射線検査を要望、実現 (2011年12月議会)



学校給食は毎日、大和公民館で放射線量の検査をしています。

2012年6月から測定しています。(上の写真)

「東海第二原発の廃炉」請願、趣旨採択に尽力

2012年9月議会では、東海第二原発の廃炉を求める会（鈴木真美子代表）から4000筆近い署名が提出されました。

菊池議員も1000筆近い署名集めに奔走しました。議会内では各議員に採択を働きかけました。

議会では、「廃炉」ではなく「再稼働しない」という趣旨採択となりました。これは、県内44自治体中、23番目の採択となり、過半数の自治体をこえたことになりました。全県の原発ゼロ運動に貢献しました。

医療環境の改善に責任を持たない茨城県

日本共産党市会議員 菊池伸浩

国の医療再生交付金をめぐって、この4年間、議会は振り回されてきました。3月9日の再合意文書では、「新中核病院は筑西市」、「県西総合病院は桜川市」と、今までの協議が破談のかたちで、独自に取り組むことになってしまいました。

深く考えてみれば、「病院をつぶしたら（2病院を1病院にする）交付金をやる」という国の政策そのものに問題があるのです。

私は、2月20日、日本共産党の鈴木聡県議（筑西市選出）と筑西市の2市議と一緒に、県医療対策課にでむき担当副参事と懇談してきました。（写真左から2人目が菊池議員）

そこでは、「県西総合病院の地域での役割」を力説してきました。現在の400人もの患者さんをどこが面倒を見てくれるのか。県は、「地元医師会と相談してほしい」と答えるばかりで、地域医療に責任をもつ姿勢はありませんでした。

私たち日本共産党議員団の考え方は、「中核病院もできる方向、県西総合病院も残る方向」です。県内でも、鹿行地域に次いで医療過疎と言われる筑西・下妻医療圏で、「なくしていい病院」があるはずがないのです。橋本昌知事は、「中核病院にお金をだす姿勢」を示していません。しかし、山形県だけでなく、他県でも、いくつもの県立病院を持っているところがあります。

茨城県は財政力全国8位の大県です。税金の使い方を変えさせることが必要です。

桜川市・筑西市の両市が、「新中核病院建設、県西総合病院再建」の運動を共同で取り組むことが必要だと考えます。



2月20日、県庁舎で医療対策課に申し入れをする
菊池市議（左から2人目）と鈴木県議（左から4人目）たち

県西総合病院存続が決まるまでの経過(合意文書再合意まで)

昨年12月13日に桜川市と筑西市で合意された「中核病院建設に関する文書」では、県西総合病院に関する文言は次の通りでした。

4、公立2病院再編後の経営形態

A案 両病院とも19床以下の診療所

B案 県西総合病院は病院として残し、筑西市民病院は無床の診療所
いずれにするかは、建設推進会議で協議

この案は、当初、「A案 両病院とも19床以下の診療所」にするというものでした。これでは、県西総合病院はなくなってしまうと桜川市議会は、「B案 県西総合病院は病院として残す」ことを要望し、両論併記の形で取り入れられました。「玉虫色の合意書」といわれました。

さらに、今年1月24日、桜川市議会は、「県西総合病院存続に関する決議」を全員一致で可決しました。「県西総合病院の存続」は確定的となりました。

平成25年度内に「中核病院に着手する」ために、建設推進会議の設置が必要となり、両市が協議に入りました。そこで出てきたのが、「両論併記の合意文書」を変更するという方向です。

2014年3月9日次の再合意文書が調印されました。「新中核病院建設基本的事項に係る項目4以降の変更は次の通りです。

4、公立2病院の再編統合後の形態について

県西総合病院を病院として存続させ、筑西市民病院を無床の診療所とする。

5、新中核病院及び公立2病院の整備・運営について

新中核病院及び筑西市民病院の整備・運営は筑西市が行い、県西総合病院の整備運営は桜川市がおこなう。

6、新中核病院の建設場所について

建設場所については再考し、筑西市が決定する。

菊池議員の議会活動の主なもの

1.高久ストックヤード事件

大和地区高久の「残土搬出」で、市に違法があった事件です。菊池議員は、一貫して不正を追及しました。特に、「土の比重が1.06（市の主張）」ではなく、「1.7（科学的事実）」であることを土壌の専門家（菊池議員は大学では土壌肥科学専攻）としての見地から追及。仁平議員の裁判にも協力（住民監査請求文書の作成、オンブズマン弁護士の紹介）して、裁判勝利に貢献しました。

2.中核病院・県西総合病院問題をめぐって

2011年4月議会から「中核病院と県西総合病院のあり方」を連続して取り上げてきました。県西総合病院を残す（医者がきてくれる病院にする）立場から、一貫して中核病院は必要の意見を述べてきました。そのためには、県にも、厚生労働省にも交渉（下の写真）に行きました。

2年半続いた議会内の意見対立も、2013年6月議会は全議員いっちで、中核病院「立ち上げ」予算を可決しました。



写真 左から加茂筑西市議、菊池市議、三浦筑西市議、塩川衆議院議員

3.無駄な公共事業に反対(2012年3月議会)

前・中田市長提案の岩瀬駅橋上化事業を凍結。9300万円の予算を1票差で「予備費に回す形」で否決。

4.中核病院をめぐる異常な議会運営に徹底論戦

中核病院「立ち上げ」予算の審議(3回否決、1回は議案上程拒否)では、徹底して正常な審議を要求。

特に、2012年2月の臨時議会は「3分間の議会」で議案上程をさせませんでした。「審議拒否は議会の自殺行為」として、相田議長の議会運営を批判。後日、全員協議会で相田議長から「言葉足らずであった」との謝罪の言葉を引き出しました。

さらに、2012年6月議会のK議員の懲罰動議をめぐっては、「議会行事欠席」という個人的な事案に対し、「3日間出席停止」という懲罰には、「議員の表決権を奪うもの」として徹底して反対。

5.青柳歩道橋(岩瀬庁舎前)の撤去を提案、実現(2012年3月議会)

市民の方から「さびついて使われなくなっていた歩道橋」の撤去の指摘をうけ、議会でとりあげました。



2013年8月撤去工事(上の写真)

6.「レストハウスみかげ」の廃止を提案(2010年10月議会)

真壁町桜井にある「レストハウスみかげ」は指定管理者の撤退により、今は営業していません。廃止の方向で検討中。

7.青木堰の案内板の取り付け(2011年12月議会)

「二宮尊徳仕法の青木堰」の整備にともない取り付け道路ができました。

「案内板」の必要性を指摘し、実現。



議会での発言・市民への報告は 議員の一番の仕事です

- 議会で発言すること、その結果を市民のみなさんに報告することは、「議員の最低限の仕事」をモットーに、菊池のぶひろ議員は活動してきました。
- 地域政治新聞「新しい桜川」は、1回1万3000枚ずつ、年4回新聞折り込みでお配りしています。「いい情報」、「貴重な情報」をありがとうとの声が、多くの方々から寄せられています。
- また、議会のたびごとに、街頭からも市政報告をしています。市内全域回るには、500ヶ所で行います。年2回～3回を目標に、演説を続けています。



略 歴

- 昭和21年(1946)生まれ。
- 1969年 千葉大学園芸学部卒業
- 1969～2009年
真壁農業高校、鬼怒商業高校、笠間高校で理科の教員。
「授業おもしろ大賞」で生徒さんから表彰を受ける。
「理科教育功労賞」で全国表彰を受ける。
教員時は地域政治新聞「いわせ民報」・「新しい桜川」・「まかべ民報」の編集を担当し、裏から奥さんの議員活動を支える。
茨城県高等学校教職員組合書記次長
- 2009年8月
西茨城郡区県議補欠選挙に立候補 10,000余票を獲得
- 2010年9月 桜川市議選で初当選

新しい桜川 2014年初夏号外(改訂版) 日本共産党の見解を発表します

発行 日本共産党桜川支部 発行責任者 菊池のぶひろ ☎0296-75-3856